

# 足羽山魅力向上計画

平成29年3月

福 井 市

## 不死鳥のねがい（福井市市民憲章）



わたくしたちは 不死鳥福井の市民であることに誇りと責任を感じ  
郷土の繁栄と幸福をきずくため 力をあわせ 不屈の気概をもって  
このねがいをつらぬきましょう

実践目標（平成26年4月～平成31年3月）

- 1 すすんで 親切をつくし  
愛情ゆたかなまちを つくりましょう  
とどけよう 明るいあいさつ 感謝のことは
- 2 すすんで 健康にこころがけ  
明朗で活気あるまちを つくりましょう  
みんな仲よく健康で 心も体もすこやかに
- 3 すすんで くふうをこらし  
清潔で美しいまちを つくりましょう  
とりくもう わが家とまちの 美化運動
- 4 すすんで きまわりを守り  
安全で住みよいまちを つくりましょう  
まなびあおう 家庭の防犯 地域の防災
- 5 すすんで 教育を重んじ  
清新な文化のまちを つくりましょう  
わがまちふくい まなんで知って 誇りを持つ

（昭和39年6月28日制定）

不死鳥のねがい（福井市市民憲章）推進協議会

# 目 次

---

第1章 策定の趣旨		
1-1 計画策定の経緯	—	1
1-2 計画の位置づけ	—	1
1-3 計画の期間	—	2
第2章 現況と課題		
2-1 足羽山の歴史	—	3
2-2 足羽山の現況	—	4
2-3 施設の利用状況	—	5
2-4 足羽山の市民ニーズ（市民意識調査結果）	—	7
2-5 足羽山の利用者ニーズ（アンケート調査結果）	—	8
2-6 将来に向けた課題	—	11
第3章 将来像と施策の基本方針		
3-1 足羽山の将来像	—	12
3-2 施策の基本方針	—	12
3-3 ゾーニング	—	13
3-4 目標を定量化する指標	—	14
第4章 具体的な施策		
4-1 施策の体系	—	15
4-2 基本方針別の具体的な施策	—	16
(1) 基本方針：守る	—	16
(2) 基本方針：楽しむ	—	17
(3) 基本方針：学ぶ	—	19
(4) 基本方針：整える	—	20
第5章 計画の推進		
5-1 計画推進の考え方	—	21

参考：足羽山魅力向上計画 実施イメージ

# 第1章 策定の趣旨

## 1-1 計画策定の経緯

福井市では、平成28年に福井駅西口再開発ビル（ハピリン）のオープン、平成30年に福井しあわせ元気国体・大会の開催、平成32年に東京オリンピック・パラリンピック開催、その後の北陸新幹線福井開業など、観光誘客拡大の好機が集中する大きな転換期を迎えています。

このような状況の中、まちなかの里山として市民に親しまれている足羽山を、新たな福井の魅力を発信する場として位置づけるとともに、市民や観光客に対して、より魅力あるものとするために取り組む施策の具体的な行動計画を策定するものです。

## 1-2 計画の位置づけ

北陸新幹線福井開業に向けて、まちなかで身近に自然に出会える足羽山及びその周辺の歴史・文化資源の魅力向上を図るため、『足羽山・足羽川周辺空間再形成基本構想』に示された施策の具体的な行動計画として、『足羽山魅力向上計画』を位置づけます。

### 県都デザイン戦略（福井県・福井市、平成25年3月）

『県都デザイン戦略』は、行政、県民・市民、企業、団体等、全ての県都のまちづくりに関わる主体が、県都の将来像を共有し、具体化を目指すものであり、県都の目指す姿と実現イメージを提示し、まちづくりの方向性と具体的な方策を示している。

県都の目指す姿の1つとして、「自然を守り、緑や水と共生するまち」を掲げ、足羽山、足羽川をまちのシンボルとし、自然を守り、歴史と文化を楽しむ場として活かし、更には緑をまちなかへと広げ、緑や水と共生するまちを形成することが位置づけられている。



### 足羽山・足羽川周辺空間再形成基本構想（福井市、平成26年3月）

足羽山・足羽川を「駅・城址周辺から気軽に行くことができ、足を伸ばしたくなる場とするため、愛宕坂周辺、浜町界わいの歴史・文化や、足羽川の水辺空間を活かして再生する」という考え方を踏まえ策定した。

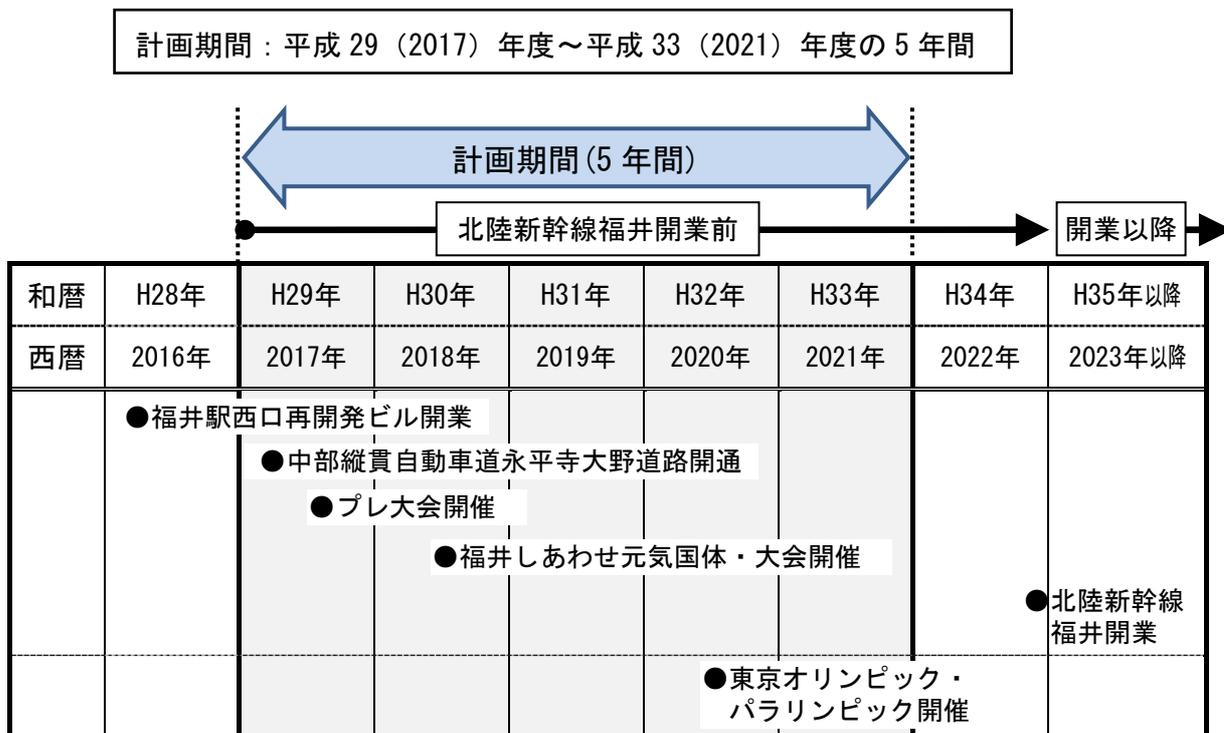
本構想では、まちなかで身近に自然に出会える足羽山を、「空と森の出会い空間」として整備することが位置づけられており、「市民活動の促進」「誘客力の強化」「回遊性の向上」の3つを魅力ある空間づくりの視点としている。



### 足羽山魅力向上計画（福井市、平成29年3月）

### 1-3 計画の期間

本計画の期間は、北陸新幹線福井開業を契機と捉え、平成 29 年度から福井開業予定年度の前年である平成 33 年度までの 5 年間とそれ以降の期間に区分して、段階的な取り組みを進めます。



#### 【北陸新幹線福井開業前】

具体的な事業等を位置付ける期間とします。

#### 【北陸新幹線福井開業以降】

市民や観光客のニーズ等を踏まえて、足羽山のさらなる魅力向上のための施策を再検討します。

## 第2章 現況と課題

### 2-1 足羽山の歴史

足羽山は市街地の南西に位置し、古くから人との関わり合いが深く、古墳時代には多くの古墳が築かれ、昭和 28 年に足羽山古墳群として県指定史跡となっています。

江戸時代以前には「愛宕山」と呼ばれ、天正 4 年に柴田勝家により一乗谷から愛宕大権現社（現在は足羽神社に合祀）が移された後、多くの寺社が立地して寺社参拝でにぎわったと言われていました。

明治 42 年に当時の皇太子殿下（後の大正天皇）の福井行啓を記念し、足羽山公園として整備され（平成 21 年 開園 100 周年）、昭和 27 年には「福井復興博覧会」の第二会場に選ばれ、郷土博物館や天文台（ともに現在の自然史博物館）、動物園等の施設が設置されました。平成 2 年には足羽川と共に「さくら名所 100 選」に選ばれていますが、ほかにも初夏にはアジサイ、秋にはモミジと様々な植栽が施されており、季節に応じてその姿を変化させます。

その他、麓には神社への参道として利用されてきた愛宕坂や、本市の水道事業の始まりを今に伝える水道記念館（旧足羽揚水ポンプ場）等もあります。

これらの自然、歴史及び文化に恵まれていることから、現在も多くの市民に親しまれています。



航空写真（平成 27 年 9 月 撮影）

## 2-2 足羽山の現況

足羽山及びその周辺には、市民生活に密着した自然、歴史、文化資源等が多くあり、市民の憩いの場となっています。『足羽山ガイドブック』（福井市）には、散策道、史跡、施設、社寺及び展望広場の概要や山内に生息する動植物等が紹介されています。



出典：足羽山ガイドブック（福井市）

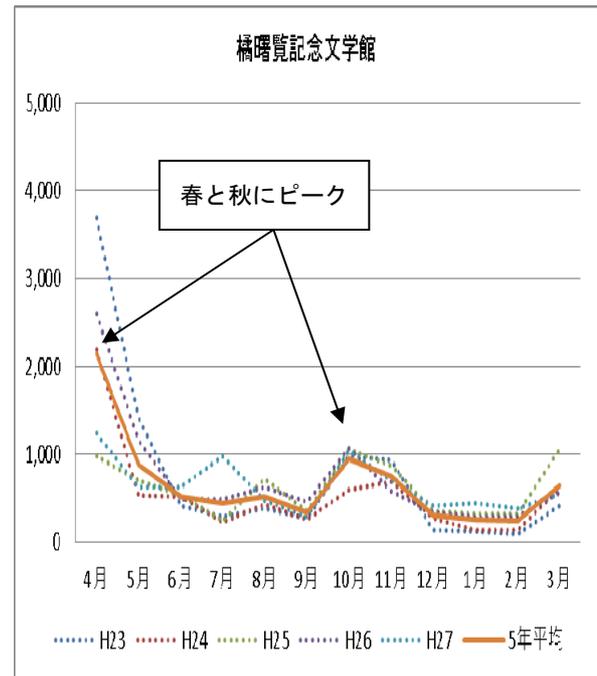
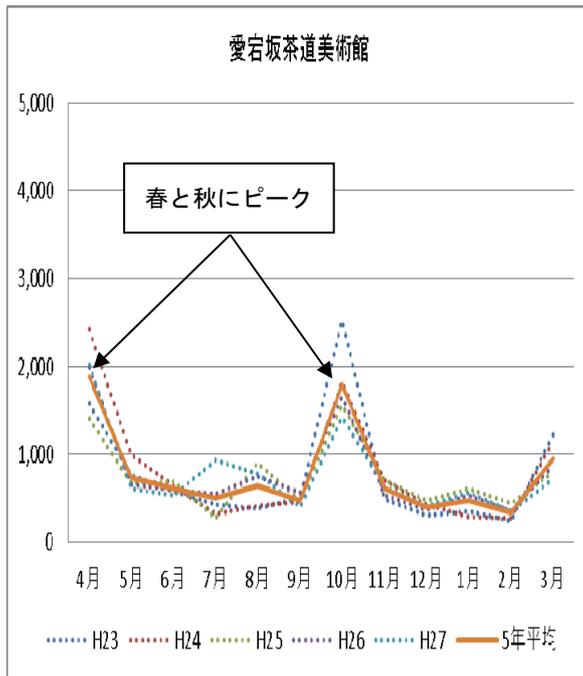
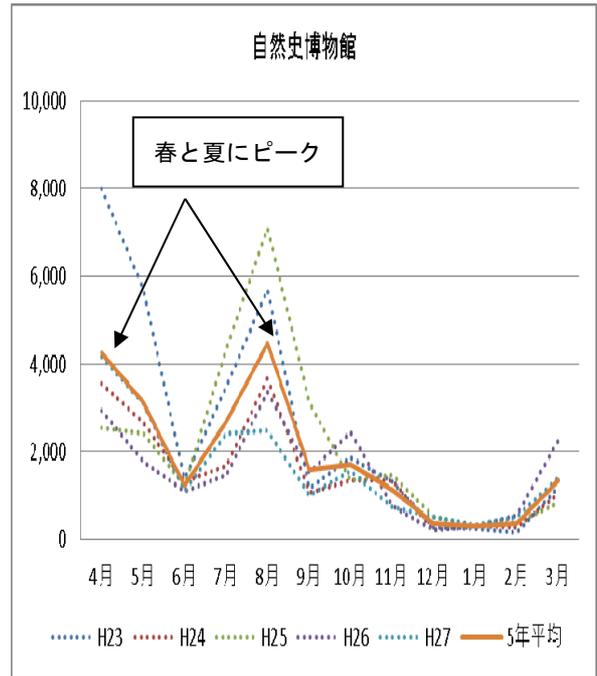
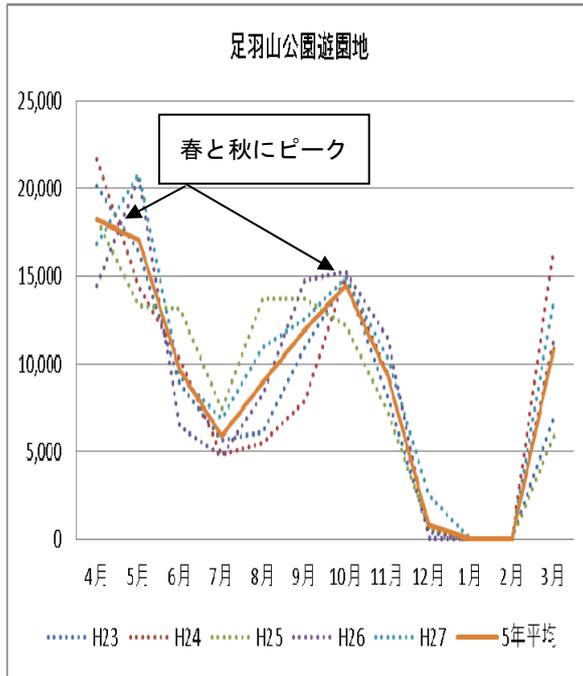
## 2-3 施設の利用状況

足羽山にある主要な施設（足羽山公園遊園地、自然史博物館、愛宕坂茶道美術館及び橘曙覧記念文学館）の利用状況は、平成23～27年では約14万1千人～約15万5千人で推移しています。

施設別に見ると、足羽山公園遊園地の利用者数が最も多く（平成27年：約12万人）、次いで自然史博物館（平成27年：約2万人）、その後、愛宕坂茶道美術館（平成27年：約9,000人）、橘曙覧記念文学館（平成27年：約8,000人）と続きます。

また、月別に見ると、足羽山公園遊園地、愛宕坂茶道美術館及び橘曙覧記念文学館は春と秋に、自然史博物館は春と夏に利用者が多く、いずれの施設も冬は利用者が少ない傾向にあります。





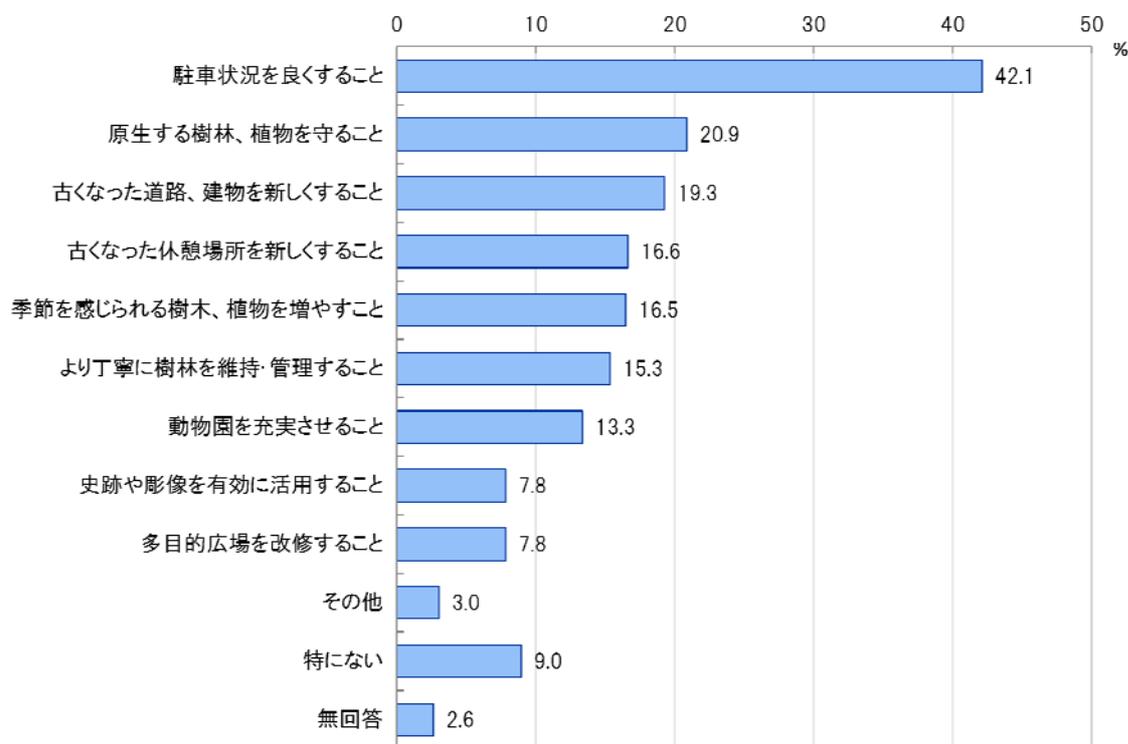
足羽山周辺施設の月別利用者数（平成 23～27 年）

## 2-4 足羽山の市民ニーズ（市民意識調査結果）

平成 27 年度「福井市民意識調査」で、足羽山に対する市民ニーズを調査しました（サンプル数 1,251 人、複数回答）。

結果としては、「施設に関すること」（道路・建物、休憩場所、動物園及び多目的広場の合計：57.0%）が最も多く、次いで「自然に関すること」（樹林・植物に関する合計：52.7%）、「駐車に関すること」（42.1%）、「史跡や彫像の有効活用」（7.8%）と続いています。

また、9.0%の方は「特にない」と回答しています。



注：複数回答のため、合計は100%を超える

## 2-5 足羽山の利用者ニーズ（アンケート調査結果）

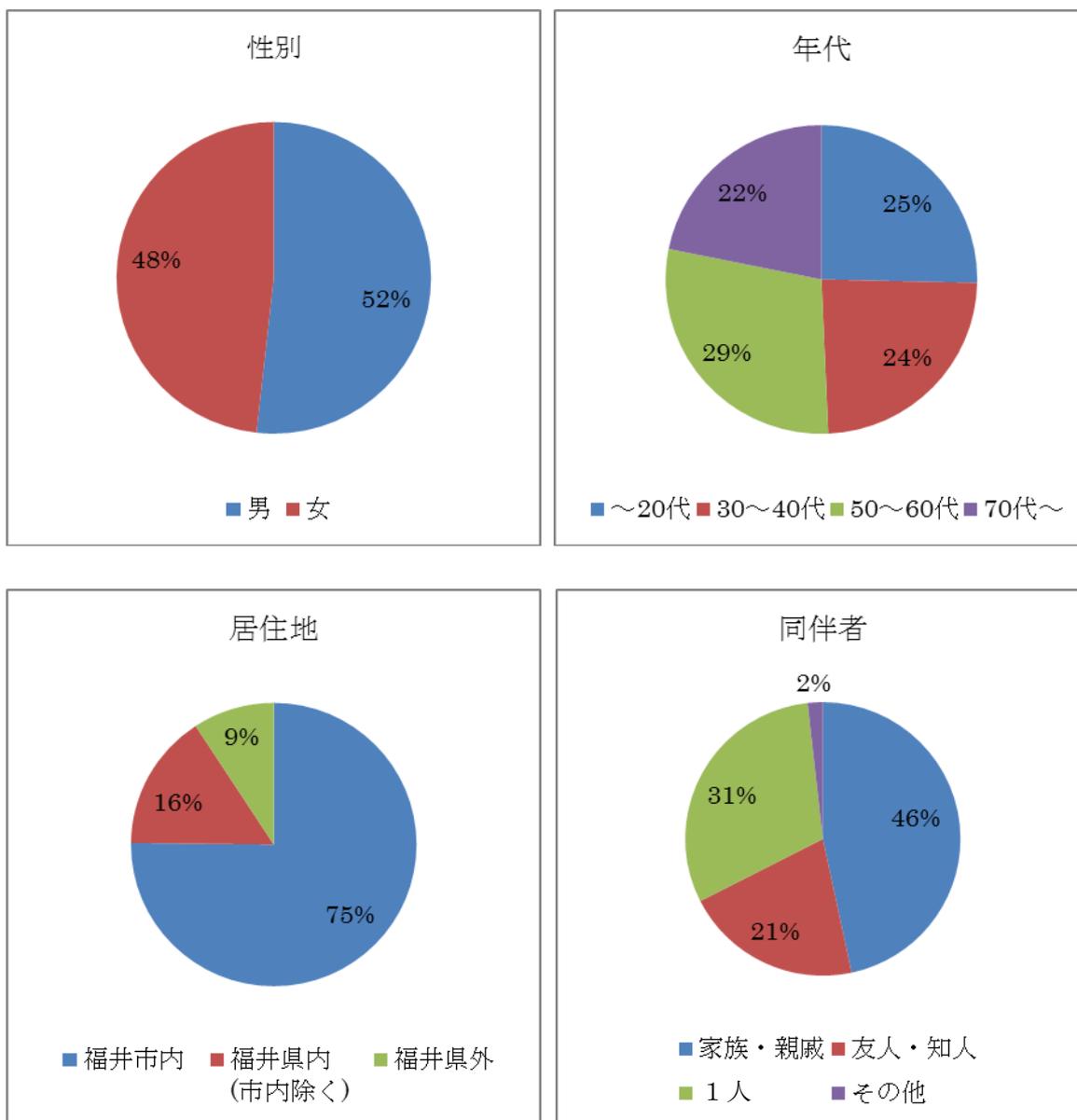
平成 27 年 8 月 8 日(土)、午前 6 時～午後 4 時、足羽山遊園地、足羽山公園臨時交番前及び自然史博物館において、足羽山に対する利用者ニーズを調査しました。(サンプル数：283 人)

### (1) 属性

老若男女問わず利用されています。

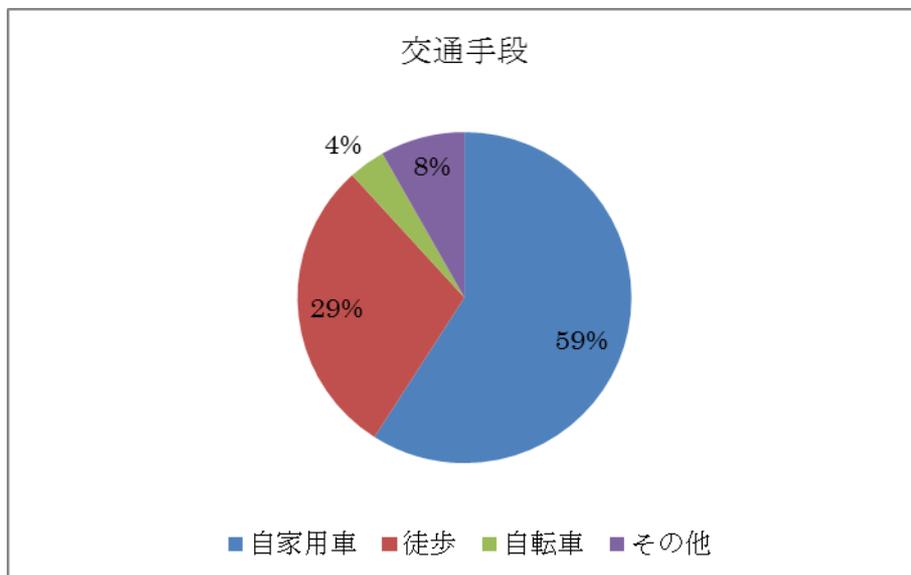
多くの方が市内在住者ですが、25%の方は市外在住者です。

また、多くの方が家族や友人等の複数人数で来ていますが、31%の方は 1 人で来ています。



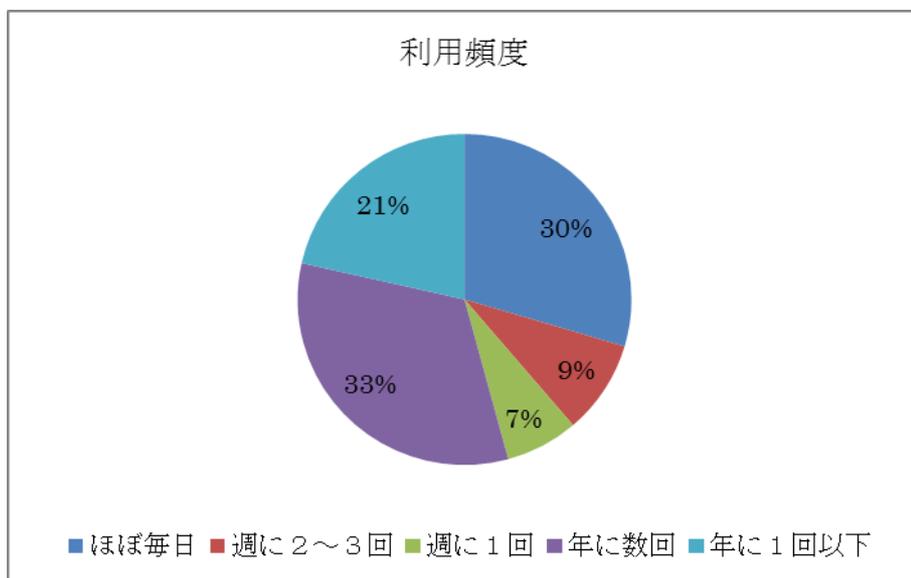
## (2) 交通手段

33%の方は徒歩や自転車ですが、半数以上の方(59%)は自家用車で来ています。



## (3) 利用頻度

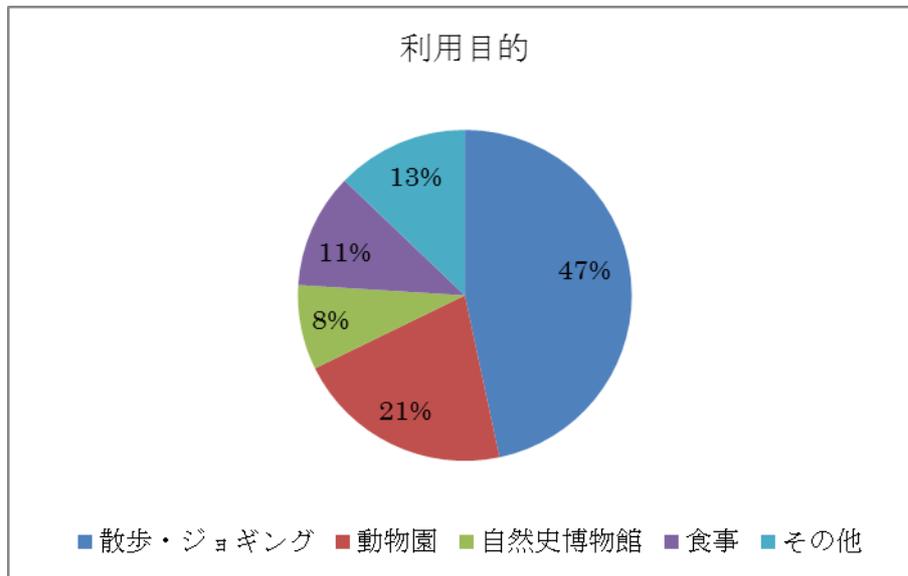
年に数回以下の方と週に1回以上の方が約半々になっています。



#### (4) 利用目的

利用目的は、散歩やジョギングのために来ている方が最も多く（47%）、次いで動物園や自然史博物館（29%）となっています。

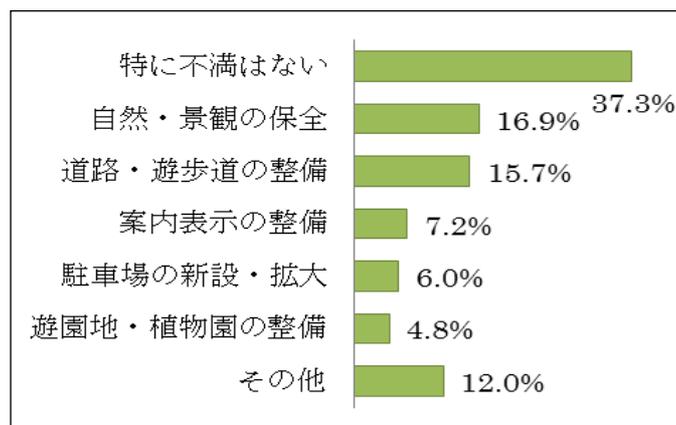
また、24%の方は食事等のために来ています。



#### (5) 足羽山に求めること

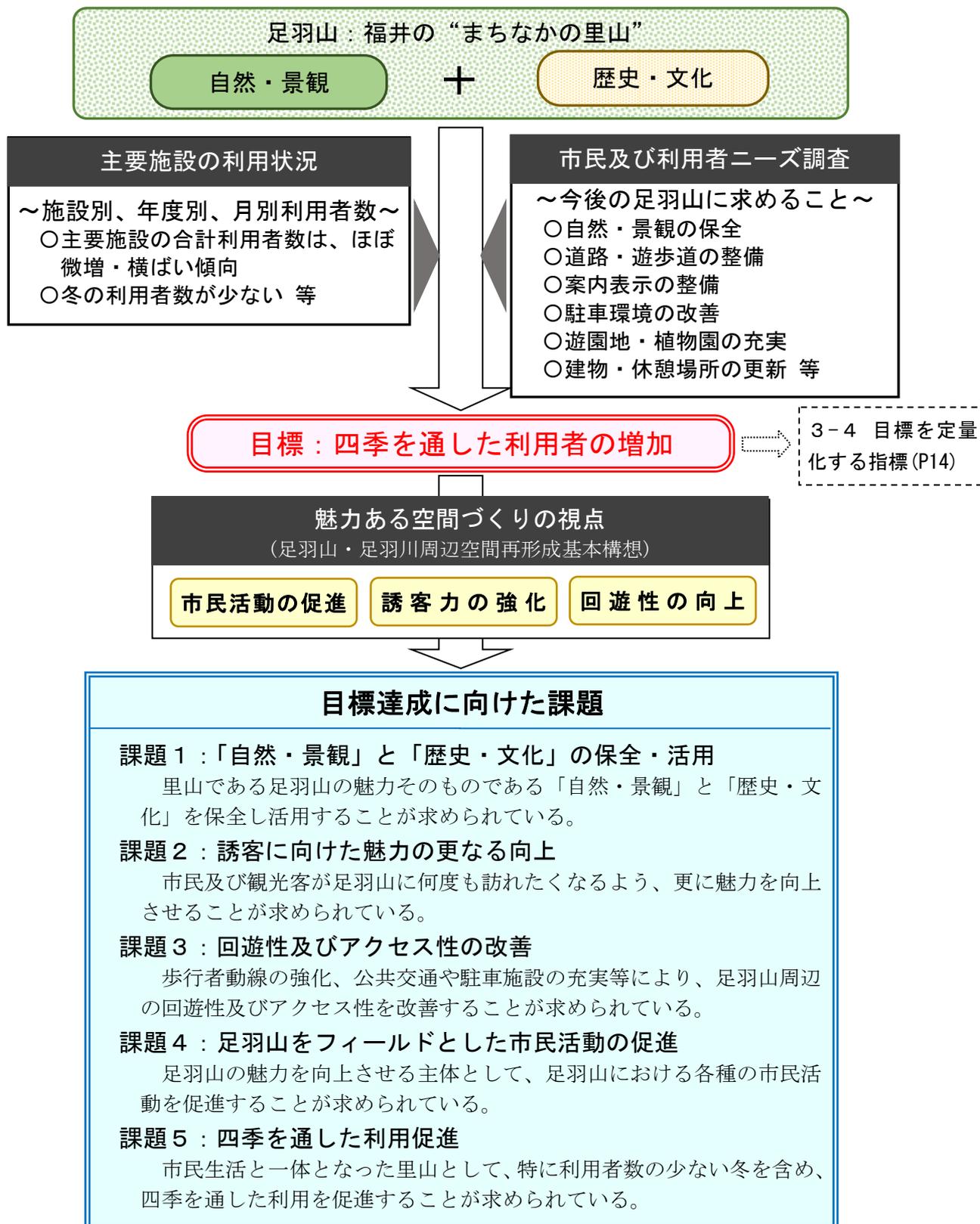
37.3%の方は現状に満足されています。

一方、「自然や景観の保全」、「案内表示や遊園地等の整備」、「園路や駐車場等の整備」等が足羽山に求められています。



## 2-6 将来に向けた課題

足羽山の特性である「自然・景観」と「歴史・文化」を最大限に活かし、主要施設の利用状況や市民及び利用者ニーズを踏まえ、将来目標として『四季を通した利用者の増加』を掲げ、目標達成に向けた課題を整理します。



## 第3章 将来像と施策の基本方針

### 3-1 足羽山の将来像

四季を通して感じられる「自然・景観」及び足羽神社の参道として栄えた愛宕坂等の「歴史・文化」を大切にし、まちなかの里山として足羽山の魅力を更に向上させるために足羽山の将来像を次のように設定します。

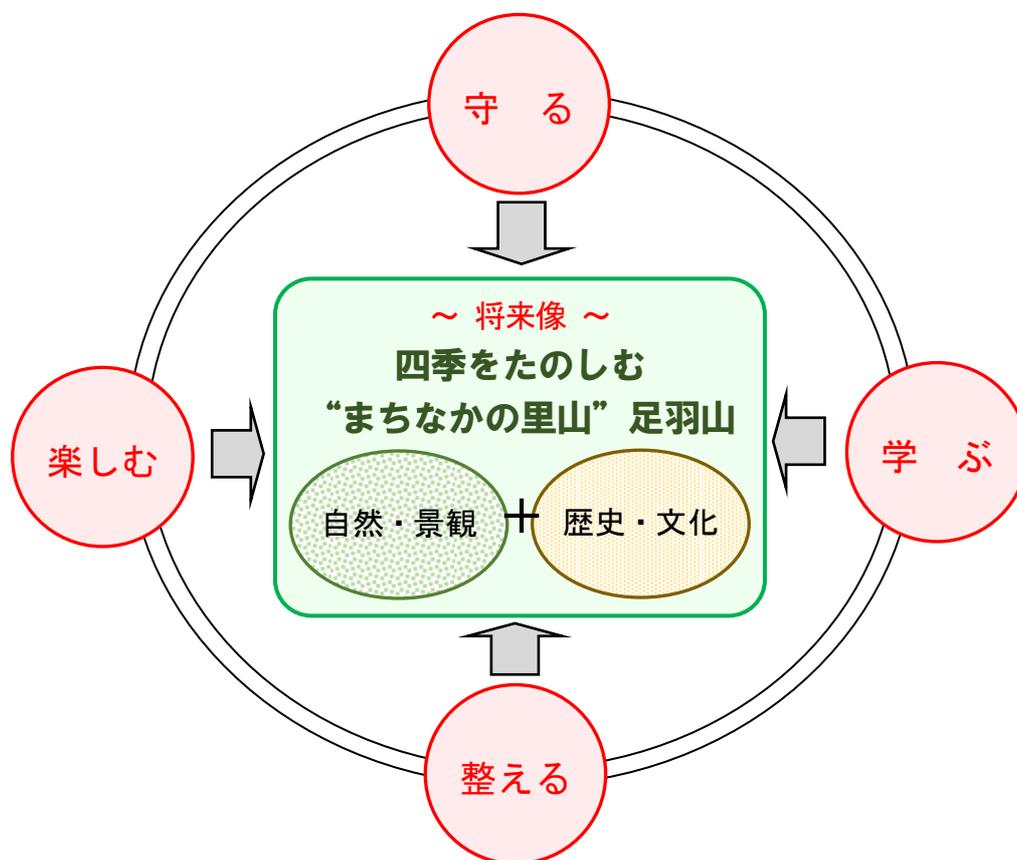
### 四季をたのしむ “まちなかの里山” 足羽山

### 3-2 施策の基本方針

前章で整理した、目標に向けた課題を解決し、将来像を実現するための施策の基本方針を定めます。

足羽山を、四季が感じられるまちなかの里山として後世に伝えていくため、その「自然・景観」を市民全体で『守る』とともに、「歴史・文化」と併せて『楽しむ』及び『学ぶ』空間として活用します。また、まちなかから足羽山の山頂まで快適に散策できる環境を『整える』ことで、四季を通して多くの人々が集い、楽しめる足羽山を目指します。

この『守る』、『楽しむ』、『学ぶ』及び『整える』という4つのアクションを、将来像実現に向けた施策の基本方針とし、これらの相乗効果を高める具体的な施策に取り組みます。

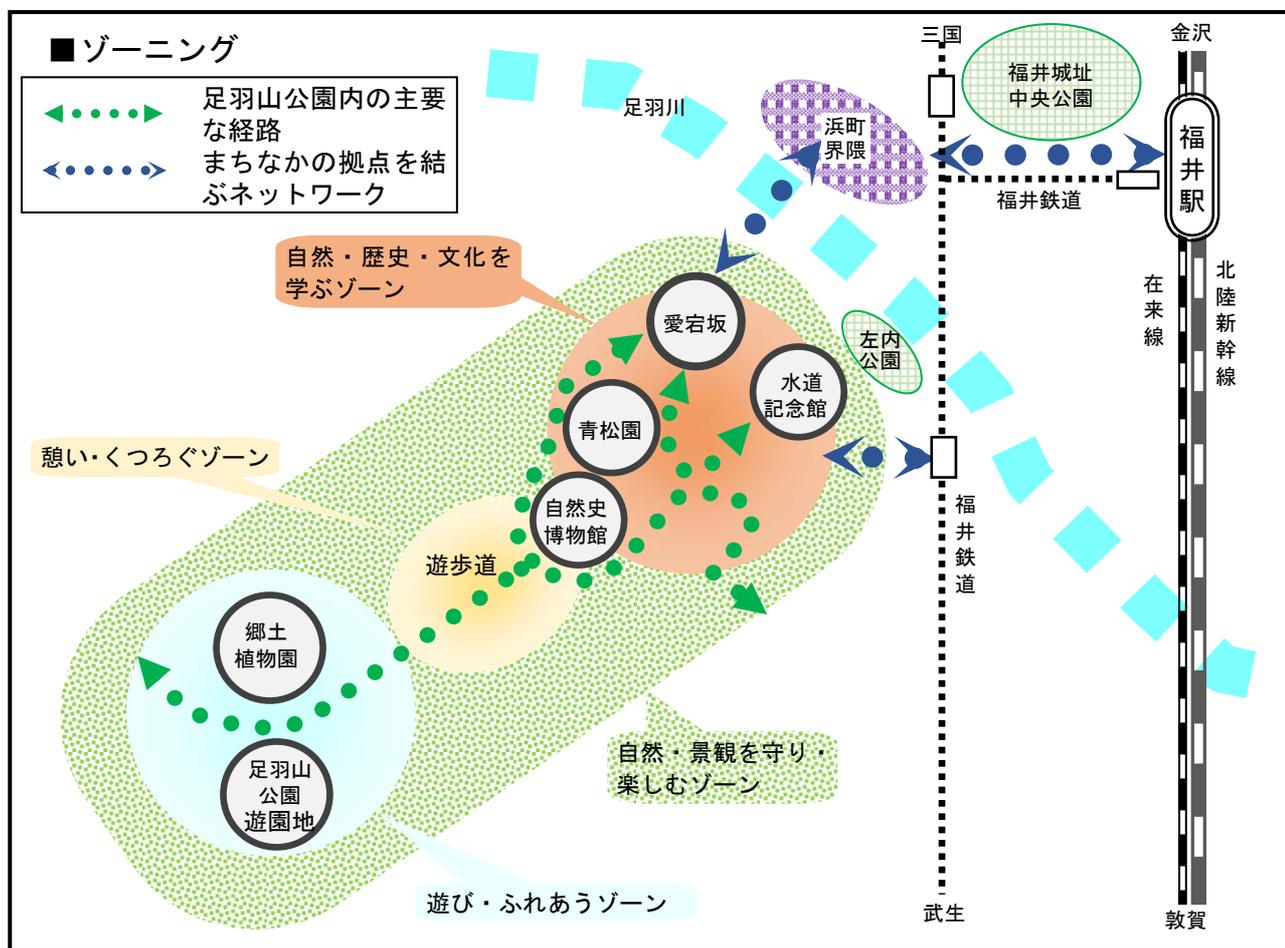


足羽山の将来像と4つのアクション（施策の基本方針）

### 3-3 ゾーニング

足羽山を代表する「自然・景観」及び「歴史・文化」の地域資源から、足羽山は大きく以下の4つのゾーンに区分され、各ゾーン特性に対応した施策に取り組みます。

ゾーン	ゾーンの特性	施策の方向性
自然・景観を守り・楽しむゾーン	足羽山を取り囲む自然と景観を形成する全体のゾーン(斜面緑地を含む)	まちなかの里山として、自然及び山だけでなく、まちからの景観を守るとともに、楽しめる空間づくり
憩い・くつろぐゾーン	茶屋が軒を連ね、春のサクラ・初夏のアジサイ・秋のモミジなど季節ごとの景色が彩られる中央部のゾーン	四季折々の景色を眺めながら来街者がゆったりと憩い・くつろぐ空間づくり
自然・歴史・文化を学ぶゾーン	歴史・文化資源(水道記念館、百坂、愛宕坂、愛宕坂茶道美術館、櫛磔記念文学館、自然史博物館、継体天皇像等)が集中する東側のゾーン	足羽山の自然や周辺を含めた歴史・文化を学べる空間づくり
遊び・ふれあうゾーン	足羽山公園遊園地(動物園)と郷土植物園により動植物とふれあえる西側のゾーン	多くの子ども連れが、アスレチックや、動植物とのふれあいでにぎわう空間づくり



### 3-4 目標を定量化する指標

『四季を通した利用者の増加』という目標を定量化する指標を、足羽山の利用者数及び足羽山にある主要施設の利用者数とし、その現況値と目標値を以下のように定めます。

◎目標値の設定 … 平成 33 年時点でおおむね 30%増加\*<sup>1</sup>

項目	従前値 (人/年)	目標値(平成 33 年) (人/年)
足羽山の利用者数	222,000* <sup>2</sup>	300,000
主要施設* <sup>3</sup> の利用者数	155,285* <sup>4</sup>	200,000

\* 1…福井市観光振興計画 (H28.3) の数値目標

項目「まちなか観光客入込数」の増加率を準用

104 万人(平成 26 年実績)⇒140 万人(平成 32 年目標)

\* 2…平成 26 年度都市公園利用実態調査結果に基づく年間利用者数 (推計値)

(調査日：平成 26 年 10 月 16 日(木)及び 19 日(日))

\* 3…足羽山公園遊園地、自然史博物館、愛宕坂茶道美術館及び橘曙覧記念文学館

\* 4…平成 27 年度の年間利用者数

## 第4章 具体的な施策

### 4-1 施策の体系

将来像の実現に向け、先に設定した4つの基本方針に沿って実施すべき施策を以下のとおり位置づけます。

目標	基本方針	具体的な施策	
四季を通じた利用者の増加	守る	自然・景観を守る活動及び仕組みづくり	①間伐・雑木除伐、剪定の実施
			②市民活動の促進
			③景観の誘導
	楽しむ	自然・眺望を楽しむ環境づくり	④サクラ、アジサイ、モミジ等の植栽
			⑤眺望スポットの整備
		散策等を楽しむ環境づくり	⑥サイン・歴史解説板の新設・更新
			⑦足羽山公園遊園地の再整備
			⑧水道記念館の利活用
			⑨青松園の利活用
			⑩イベントの開催
	⑪左内公園の再整備		
	学ぶ	自然や歴史・文化を学ぶ環境づくり	⑫自然史博物館旧館の文化財登録
			⑬特別展・講座の開催
			⑭歴史ガイドの充実
			⑮市民活動の促進
	整える	交通環境の充実	⑯道路・遊歩道の整備
⑰駐車環境の整備			
⑱まちなか観光周遊バスの運行			
自然、観光情報の充実と発信機能の強化		⑲ビジターセンターの設置	
		⑳公衆無線 LAN 整備	
		㉑ガイドブック・ウェブサイトの充実	

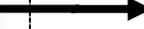
## 4-2 基本方針別の具体的な施策

### (1) 基本方針：守る

足羽山の「自然・景観」を将来にわたって『守り』、四季が感じられるまちなかの里山としての魅力を高め、自然の保全と景観の誘導を行うために、持続可能な活動及び仕組みづくりを進めます。

#### 【自然・景観を守る活動及び仕組みづくり】

継続：   
 新規： 

施策	施策の概要	新幹線		担当課
		開業前	開業以降	
①間伐・雑木除伐、剪定の実施	自然環境に配慮した間伐や雑木除伐、剪定を計画的に実施します。			公園課
②市民活動の促進	間伐等の市民活動を支援するとともに、環境ボランティア制度（自然ファンクラブ）の推進等により連携を促して、将来にわたり足羽山の自然を守る仕組みをつくります。			環境課
	足羽山など、地域の特色を活かした住民主体のまちづくりを支援して、個性と魅力にあふれる地域づくりを推進します。			まち未来創造室
③景観の誘導	建築物の修景など、住民主体の景観形成事業を支援することで、足羽山周辺の景観を守るとともに、県都の玄関口として魅力ある顔づくりを進めます。			都市整備室
	足羽山・足羽川周辺について、地域の景観特性と調和した景観をきめ細かく誘導します。			都市整備室
	屋外広告物の高さを規制し、まちなかから足羽山が望める眺望景観を保全します。			※県屋外広告物条例等の改正 （(関連)福井県）

## (2) 基本方針：楽しむ

市民や観光客が足羽山を気軽に訪れ、四季を通して『楽しむ』空間とするために、足羽山の自然・眺望を活かしつつ、散策等が楽しめる環境づくりを進めます。

### 【自然・眺望を楽しむ環境づくり】

継続：   
 新規： 

施策	施策の概要	新幹線 開業前	開業 以降	担当課
④サクラ、アジサイ、モミジ等の植栽	四季を演出するサクラ、アジサイ、モミジ等を植樹するとともに、雑木除伐や樹木の伐採、剪定等を行って、花と緑が楽しめる良好な自然環境をつくり、維持します。			公園課
⑤眺望スポットの整備	足羽山からの眺望を楽しめるよう、自然環境に配慮しながら眺望スポットを新たに整備し、また既存スポットも眺望を阻害する雑木除伐や樹木の伐採、剪定等を行います。			公園課
	自然史博物館にある展望白山テラスで誰もが気軽に眺望を満喫できるよう、展望白山テラスの利便性を高めます。			自然史博物館

【散策等を楽しむ環境づくり】



施策	施策の概要	新幹線 開業前	開業 以降	担当課
⑥サイン・歴史解説板の新設・更新	足羽山でのスムーズな移動と観光の動機付けとなるよう、サインや歴史資源の解説板の新設又は更新を行い、歩いて楽しい環境を整えます。			公園課 文化振興課 文化財保護課
⑦足羽山公園遊園地の再整備	四季を通して動物とふれあえる機能を持った休憩施設を整備します。また、更に多くの子どもでにぎわう遊園地となるよう、施設の改修又は更新を計画的に行います。			公園課
⑧水道記念館の利活用	歴史的建造物である水道記念館を活かしたにぎわいとくつろぎを創出するため、市民や観光客が憩い、くつろぐ空間としての利活用を図ります。			都市整備室 (経営管理課)
⑨青松園の利活用	茶室を備えた純日本風の家屋と庭園で構成され、上質な雰囲気を持つ青松園を活かし、観光誘客に向けた利活用を図ります。			おもてなし 観光推進課 (経営管理課)
⑩イベントの開催	足羽山公園遊園地において、動物とのふれあいイベント等を開催して、いきものとふれあえる機会の充実を図ります。			公園課
	愛宕坂や横坂のライトアップイベントやアート作品展、音楽会等を開催して、芸術に触れる機会の充実を図ります。			文化振興課
⑪左内公園の再整備	足羽ポンプ場の更新時期に合わせて、左内公園の再整備を検討します。			下水管理課 (公園課)

### (3) 基本方針：学ぶ

足羽山の持つ貴重な自然や歴史・文化を、市民や観光客が気軽に、かつ、奥深く『学ぶ』ために、特別展・講座・イベントの開催や観光ガイドの充実、更には市民活動の支援等の環境づくりを進めます。

#### 【自然や歴史・文化を学ぶ環境づくり】

継続：   
 新規： 

施策	施策の概要	新幹線 開業前	開業 以降	担当課
⑫自然史博物館旧館の文化財登録	福井地震からの復興のシンボルとして建設された自然史博物館旧館を保存して復興の歴史を後世に伝えます。			自然史博物館
⑬特別展・講座の開催	足羽山を中心とした自然をテーマにした特別展や講座等を開催して、自然と出会い、学び及び考える機会を提供します。			自然史博物館
	愛宕坂茶道美術館、橘曙覧記念文学館において、展示・講座等を通して、茶道文化の果たした歴史的役割や市民の理解の向上を図るとともに、橘曙覧の業績を顕彰して、郷土の文学活動の振興を図ります。			文化振興課
⑭歴史ガイドの充実	福井の歴史に関する講演や、史跡の案内等に歴史ボランティアを派遣します。また、歴史ボランティアのための研修も実施します。 北の庄城址資料館、グリフィス記念館及び愛宕坂に福井市歴史ボランティアバンク「語り部」の登録者を配置し、福井の歴史や文化などを広く伝えます。			文化振興課
⑮市民活動の促進	公民館において、地域の歴史や文化、自然など誇れる地域資源を学ぶ「青少年教育」や「郷土学習」等を開催します。			生涯学習室
	市民一人ひとりが郷土の歴史を理解し、自信を持って話せるよう、福井の歴史に関する各種講座を開催し、市民の郷土に対する誇りと愛情の高揚を図ります。			文化振興課

#### (4) 基本方針：整える

多くの人が足羽山を気軽に、安心して訪れるようにするため、歩行空間や駐車環境を充実するとともに、多様な交通手段を『整え』ます。

また、足羽山の持つ自然や観光に関する情報を充実するとともに、ビジターセンターの設置や公衆無線 LAN 等、IT を活用した情報の発信機能を強化します。

##### 【交通環境の充実】

継続：   
 新規：

施策	施策の概要	新幹線 開業前	開業 以降	担当課
⑯道路・遊歩道の整備	散策を快適に楽しめる山となるよう、足羽山公園内の道路や遊歩道の改修又は更新を行います。			公園課
	浜町界隈及び足羽山周辺のバス停や電停から足羽山への誘客を意識した、魅力ある歩行空間の整備を行います。			未定
⑰駐車環境の整備	市民や観光客が足羽山を訪れやすく、安全で快適な散策を楽しめるよう、自家用車や貸切バス等の駐車環境を整えます。			公園課
⑱まちなか観光周遊バスの運行	土日祝日に足羽山山頂を経由するまちなか観光周遊バスを運行し、交通の利便性を高めます。			おもてなし観光推進課

##### 【自然、観光情報の充実と発信機能の強化】

継続：   
 新規：

施策	施策の概要	新幹線 開業前	開業 以降	担当課
⑲ビジターセンターの設置	足羽山を訪れる市民や観光客に自然、歴史、文化等の情報提供を行うため、自然史博物館にビジターセンターを設置します。			自然史博物館
⑳公衆無線 LAN 整備	市民や観光客の利便性の向上のため、無料で利用できる公衆無線 LAN 環境を整備します。			情報統計室
㉑ガイドブック・ウェブサイトの充実	ガイドブックやスマートフォンを活用し、観光やイベント情報を広くわかりやすく発信します。			おもてなし観光推進課

## 第5章 計画の推進

### 5-1 計画推進の考え方

足羽山魅力向上計画は、平成29年度から平成33年度までの5年間とそれ以降の期間を対象として、段階的に取組みを進めることとしており、施策・事業の進捗状況を管理し、定期的に計画の達成状況について評価・検証を行い、庁内関係各課の連携・調整のもと計画的かつ適切にPDCAサイクルによって将来像の実現を目指します。

また、計画が硬直化しないよう、都市データの更新や上位計画の変更等の視点も踏まえて評価・検証を行います。

なお、進捗管理に当たっては、関係部局により構成する庁内会議を設置し、計画を円滑に推進していきます。

# 足羽山魅力向上計画 実施イメージ

三秀園界わい

花月橋

九十九橋

浜町界わい

中央公園

福井城

福井駅

**間伐・雑木除伐、剪定の実施**  
自然環境に配慮した間伐や雑木除伐、剪定を計画的に実施します。

**サクラ、アジサイ、モミジ等の植栽**  
四季を演出するサクラ、アジサイ、モミジ等を植樹するとともに、雑木除伐や樹木の伐採、剪定等を行って、花と緑が楽しめる良好な自然環境をつくり、維持します。

**眺望スポットの整備**  
足羽山からの眺望を楽しめるよう、自然環境に配慮しながら眺望スポットを新たに整備し、また既存スポットも眺望を阻害する雑木除伐や樹木の伐採、剪定等を行います。

**道路・遊歩道の整備**  
散策を快適に楽しめる山となるよう、足羽山公園内の道路や遊歩道の改修又は更新を行います。



(イメージ)

**景観の誘導**  
足羽山・足羽川周辺について、地域の景観特性と調和した景観をきめ細かく誘導します。

**青松園の利活用**  
茶室を備えた純日本風の家屋と庭園で構成され、上質な雰囲気を持つ青松園を活かし、観光誘客に向けた利活用を図ります。

**サイン・歴史解説版の新設・更新**  
足羽山でのスムーズな移動と観光の動機付けとなるよう、サインや歴史資源の解説版の新設又は更新を行い、歩いて楽しい環境を整えます。

**駐車環境の整備**  
市民や観光客が足羽山を訪れやすく、安全で快適な散策を楽しめるよう、自家用車や貸切バス等の駐車環境を整えます。

サイン等の整備

駐車環境の整備

植栽

眺望スポットの整備

道路・遊歩道の整備

間伐・雑木除伐等

保全活動

**公衆無線 LAN の整備**  
市民や観光客の利便性向上のため、無料で利用できる公衆無線 LAN 環境を整備します。

**市民活動の促進**  
間伐等の市民活動を支援するとともに、環境ボランティア制度（自然ファンクラブ）の推進等により連携を促して将来にわたり足羽山の自然を守る仕組みをつくりまします。

**足羽山公園遊園地の再整備**  
四季を通して動物とふれあえる機能を持った休憩施設を整備します。また、更に多く子どもでにぎわう遊園地となるよう、施設の改修又は更新を計画的に行います。



**水道記念館の利活用**  
歴史的建造物である水道記念館を活かしたにぎわいとくつろぎを創出するため、市民や観光客が憩い、くつろぐ空間としての利活用を図ります。



(イメージ)

**特別展・講座の開催**  
足羽山を中心とした自然をテーマにした特別展や講座等を開催して、自然と出会い、学び及び考える機会を提供します。

**ビジターセンターの設置**  
足羽山を訪れる市民や観光客に自然、歴史、文化等の情報提供を行うため、自然史博物館にビジターセンターを設置します。



(イメージ)

凡 例	
---	都市計画公園
■	自然・景観を守り楽しむゾーン
■	憩い・くつろぐゾーン
■	自然・歴史・文化を学ぶゾーン
■	遊び・ふれあうゾーン
■	浜町界隈
■	三秀園界隈
→	主要なアクセス動線
→	主要な動線
→	主要な遊歩道
→	道路・園路の整備区間
→	道路・園路の整備済区間
★	新眺望スポット
★	既存眺望スポット
○	無線 LAN 整備エリア (3ヶ所)

# 足羽山魅力向上計画

平成29年3月

発行

福井市都市戦略部都市整備室

〒910-8511 福井市大手3丁目 10-1

TEL:0776-20-5454

FAX:0776-20-5764